

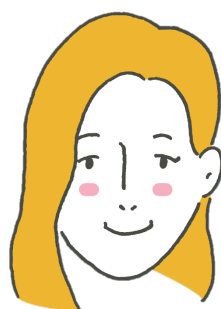
全国調査からみる アクティブラーニング 3年間 総まとめ!



木村 充 (JCERI 特任研究員)
村松 灯 (東京大学 特任研究員)
裴 麗瑩 (東京大学 特任研究員)

木村 充 (きむら・みつる)

日本教育研究イノベーションセンター
(JCERI) 特任研究員。
マナビラボ 調査研究担当。
専門は、高等教育、サービスラーニング。

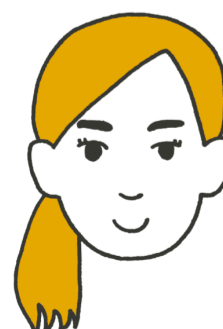


村松 灯 (むらまつ・とも)

東京大学特任研究員。
マナビラボ 調査研究ディレクター。
専門は、教育哲学、シティズンシップ教育。

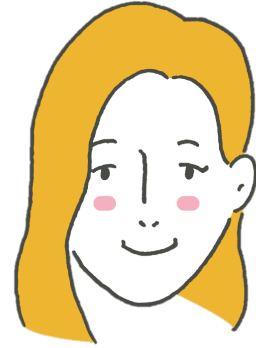
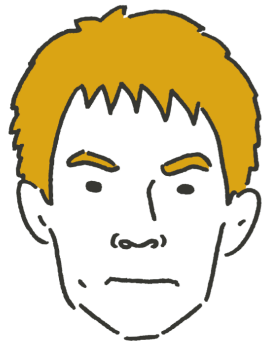
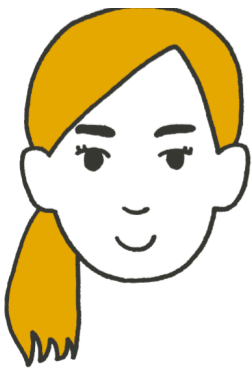
裴 麗瑩 (はい・れいえい)

東京大学特任研究員。
マナビラボ 調査研究担当。
専門は、社会医学、生物統計学。



本日はこの3人で 調査報告をさせていただきます

よろしくお願ひ致します!!



そもそも・・・ なぜいまアクティブラーニング?

社会

多様な背景をもつ
他者とともに問題解決

仕事社会の変化

投票年齢の引き下げ

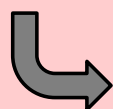


大学

大学入試改革

高校

アクティブラーニング



学校づくり

カリキュラム・マネジメント

調査の概要

1) 調査目的

高等学校におけるアクティブラーニングの視点に立った参加型授業の実態把握

2) 調査対象

2015年：普通科またはそれに準ずる学科および**総合学科**を設置する全国の高等学校（計3,893校）

学校代表者調査、教科主任調査、教員調査

2016年：2015年の調査に回答した学校（計2,414校）

教科主任調査、教員調査

2017年：普通科またはそれに準ずる学科および**総合学科**を設置する全国の高等学校（計3,857校）

学校代表者調査、カリキュラム・マネジメント担当者調査、教員調査

調査の概要

3) 調査方法

郵送法による質問紙調査

4) 調査時期

2015年7月～9月 / 2016年7月～9月 / 2017年7月～9月

5) 回収率

2015年 **62.0** % (**2,414**校)

2016年 **74.3** % (**1,793**校)

2017年 **56.7** % (**2,188**校)



3年間でのべ**49,864名**の先生方にご回答いただきました。

ご協力ありがとうございました!

ここからは 3年分の調査結果をご報告！

調査結果って、結局、**数字の羅列**でしょ？

ここから1時間、**ひたすら報告を聞くだけ**なのは辛いなあ・・・



ここからは 3年分の調査結果をご報告！

調査結果って、結局、**数字の羅列**でしょ？

ここから1時間、**ひたすら報告を聞くだけ**なのは辛いなあ・・・



本日は

クイズ形式（団体戦）

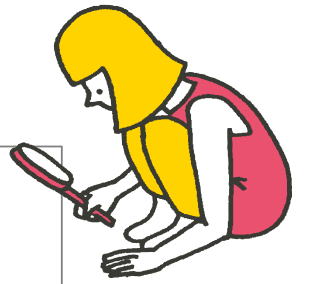
でお伝えしていきます

チームで挑戦!

全国調査 総まとめ クイズ

クイズを通して、

- 1 アクティブラーニングの現状を理解する
- 2 アクティブラーニングを支える学校づくりのポイントを理解する
- 3 チームのメンバーと互いの経験を共有する



進め方

◆お近くの方と**4人グループ**になってください!

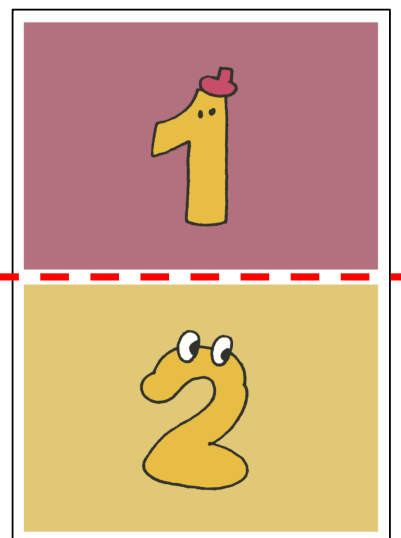
チームで1つの回答を出していただきます。
自己紹介をお願いいたします。
対話 and 経験の共有の機会になれば・・・

◆回答は、お手元にある**フリップ**で!

チームで1つ掲げていただければ結構です。

◆ご自分のグループでの**回答をメモ**しておいてください!

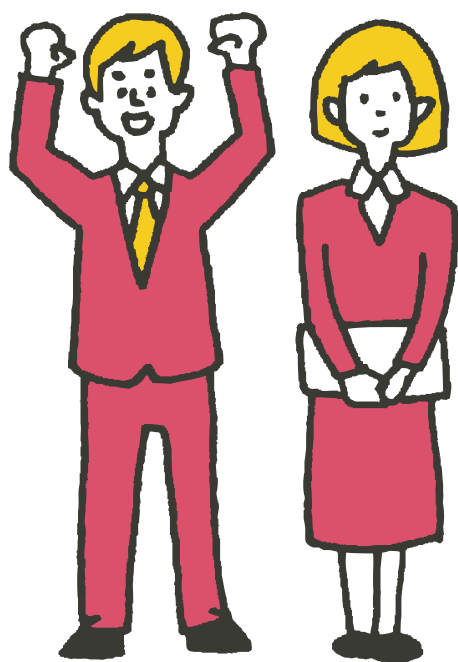
最も多く正解したチームの中から**20名に**
賞品が授与されます!



アクティブラーニング編

Question 1

アクティブラーニングの実施率は？



ここでいう アクティブラーニングって何？

アクティブラーニングの操作的定義

教員による一方向的な講義形式や思考を伴わない体験のみの教育とは異なる、**学習者の能動的な学習への参加と思考を促す教授・学習法**の総称
 以下のような手法を取り入れた授業を1回でも実施したもの

意見発表・交換型： 議論や発表を通して、意見を交換・整理する形態	例えば ディベート、話し合い（ディスカッション）、 プレゼンテーション、ブレインストーミング など
理解深化型： 自分の思考を客観的に振り返り、理解を深める形態	例えば 協調学習、学び合い、ふりかえり（リフレクション）、 自己による学習評価、作文 など
課題解決型： 課題に対して解決策を提案、または実行する形態	例えば 課題解決型学習、ケーススタディ、探究・調べ学習、 プロジェクト型学習 など

※講義を一方向的に聞くだけの授業は、「参加型学習」には含まない。

※教科書の音読や輪読、挙手、一問一答式の発問に対する回答、プリントや問題集の解答、実験・実習・実技、見学、教材の視聴など、生徒が何らかの活動を行うものでも、生徒の思考が活性化しない場合には、本調査での「参加型学習」には含まない。

ただし、「意見発表・交換型」「理解深化型」「課題解決型」等の思考の活性化を伴うプロセスを含むものであれば、本調査での「参加型学習」に含めるものとする。

Question 1

アクティブラーニングの実施率に関する質問です。

2017年、自校では「すでにアクティブラーニングに取り組んでいる」と回答した学校代表者の割合はどれくらいでしょうか？
(2017年に学校代表者の先生に尋ねました)

- ① 約45%
- ② 約55%
- ③ 約65%
- ④ 約75%

Question 1

アクティブラーニングの実施率に関する質問です。

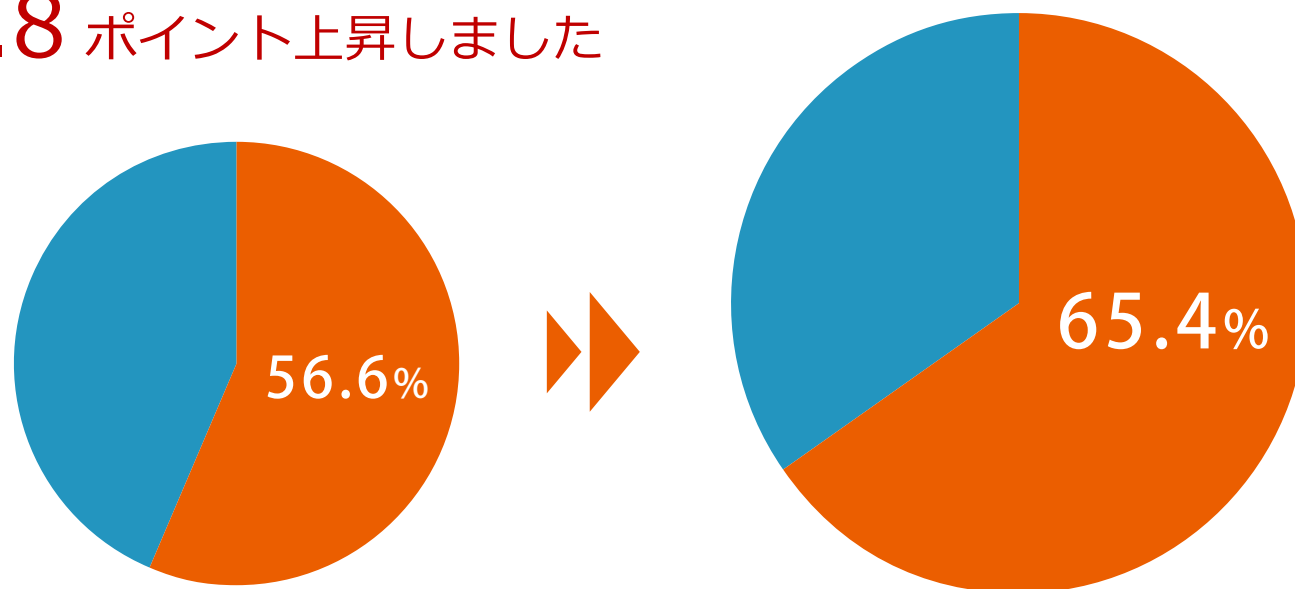
2017年、自校では「すでにアクティブラーニングに取り組んでいる」と回答した学校代表者の割合はどれくらいでしょうか？
(2017年に学校代表者の先生に尋ねました)

- ① 約45%
- ② 約55%
- ③ 約65%
- ④ 約75%

アクティブラーニングの実施率は？

2017年度の実施率は **65.4%**

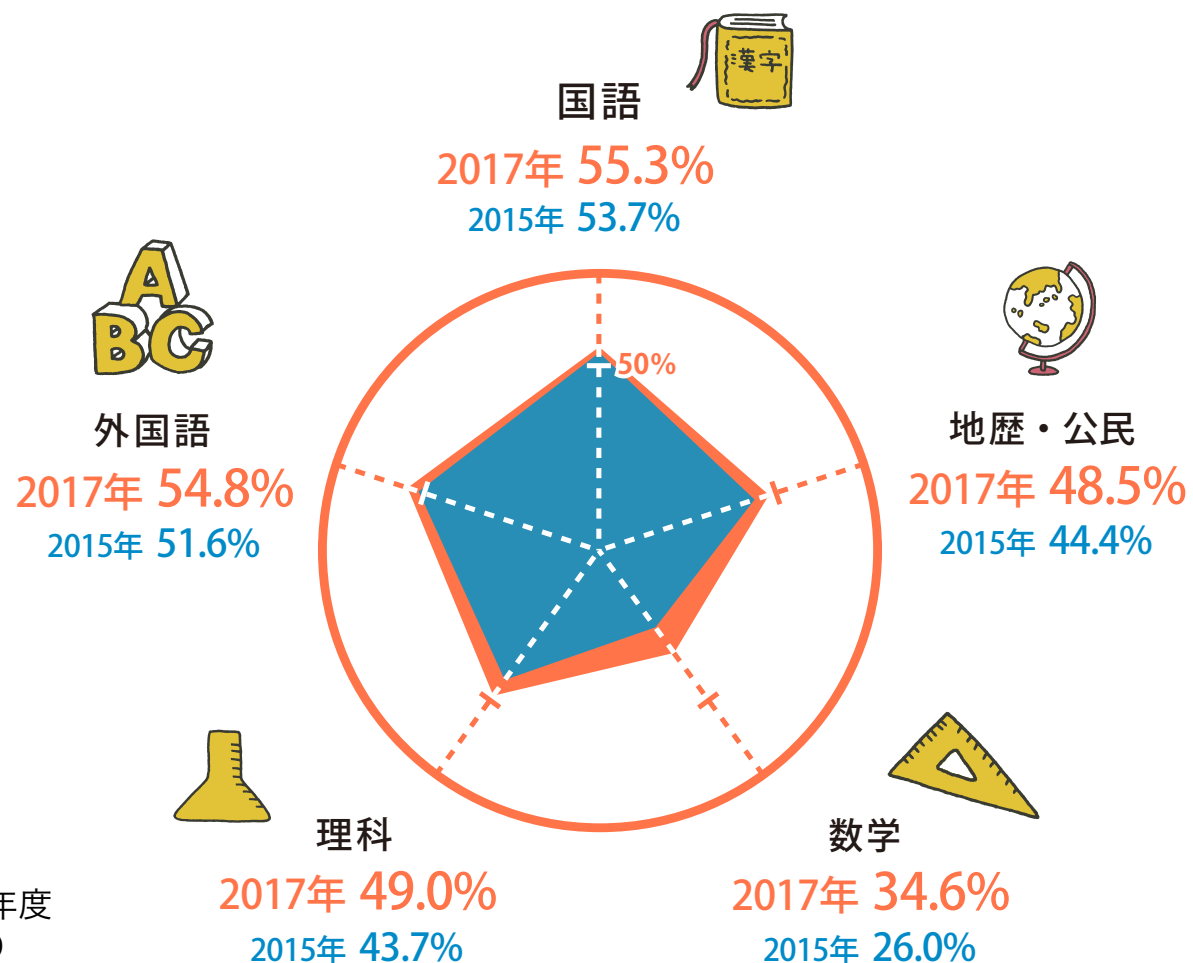
この2年で **8.8** ポイント上昇しました



2015年度 & 2017年度 学校代表者調査 より

アクティブラーニングへの取り組みは着実に増えています

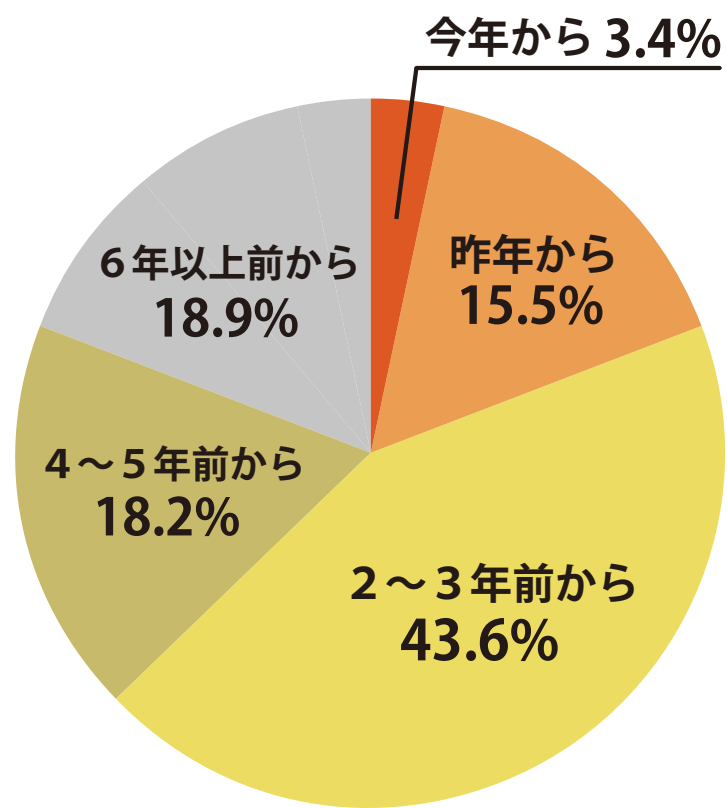
教科別にみると……



2015年度 & 2017年度
学校代表者調査 より

**実施率が高いのは国語や外国語で
数学と理科が大きな伸びを見せました**

アクティブラーニングを始めた時期は？



2017年度 学校代表者調査 より

7割以上の学校が2014年以降に始めていました

Question 2

アクティブラーニング導入のきっかけは？



Question 2

アクティブラーニング導入のきっかけに関する質問です。

導入のきっかけ上位3つの組み合わせとして正しいものはどれでしょうか？（2017年に学校代表者の先生に尋ねました）

	1位	2位	3位
①	これまでの手法に限界を感じたから	授業改善の結果たどりついたから	効果がありそうだから
②	次期学習指導要領で重視されるから	効果がありそうだから	大学入試が変わるから
③	効果がありそうだから	新しい手法に取り組んでみたかったから	最初から当然のものとしてやっていた
④	大学入試が変わるから	次期学習指導要領で重視されるから	自治体の方針として決まったから

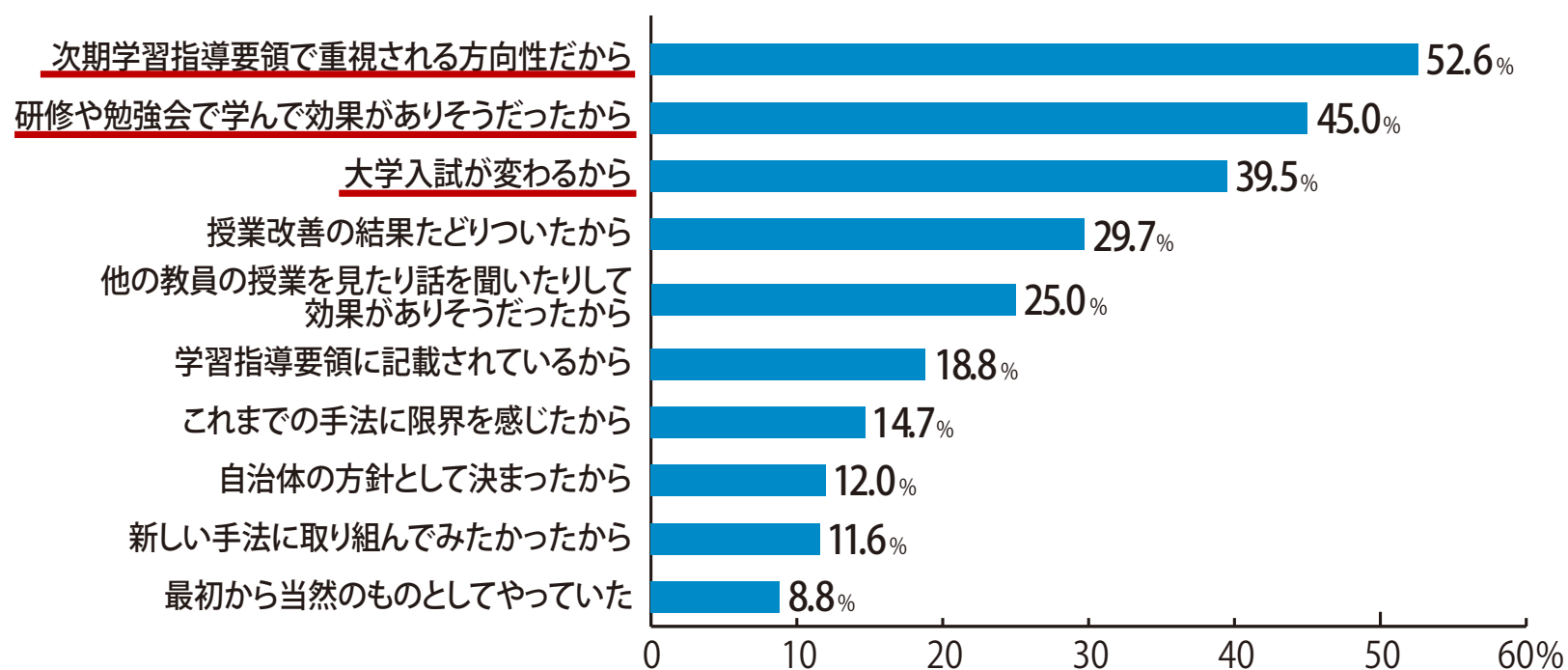
Question 2

アクティブラーニング導入のきっかけに関する質問です。

導入のきっかけ上位3つの組み合わせとして正しいものはどれでしょうか？（2017年に学校代表者の先生に尋ねました）

	1位	2位	3位
①	これまでの手法に限界を感じたから	授業改善の結果たどりついたから	効果がありそうだから
②	次期学習指導要領で重視されるから	効果がありそうだから	大学入試が変わるから
③	効果がありそうだから	新しい手法に取り組んでみたかったから	最初から当然のものとしてやっていた
④	大学入試が変わるから	次期学習指導要領で重視されるから	自治体の方針として決まったから

導入のきっかけは？

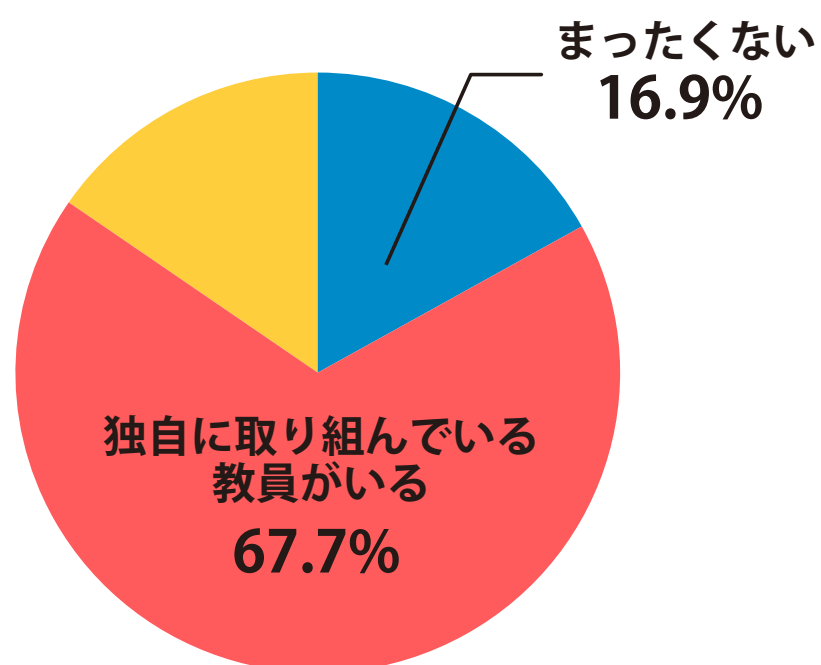


2017年度 学校代表者調査 より

**次期学習指導要領や大学入試改革とともに
アクティブラーニングへの期待感が契機となっているようです**

多くの先生が独自に取り組んでいた 2015年

アクティブラーニングの取り組み状況

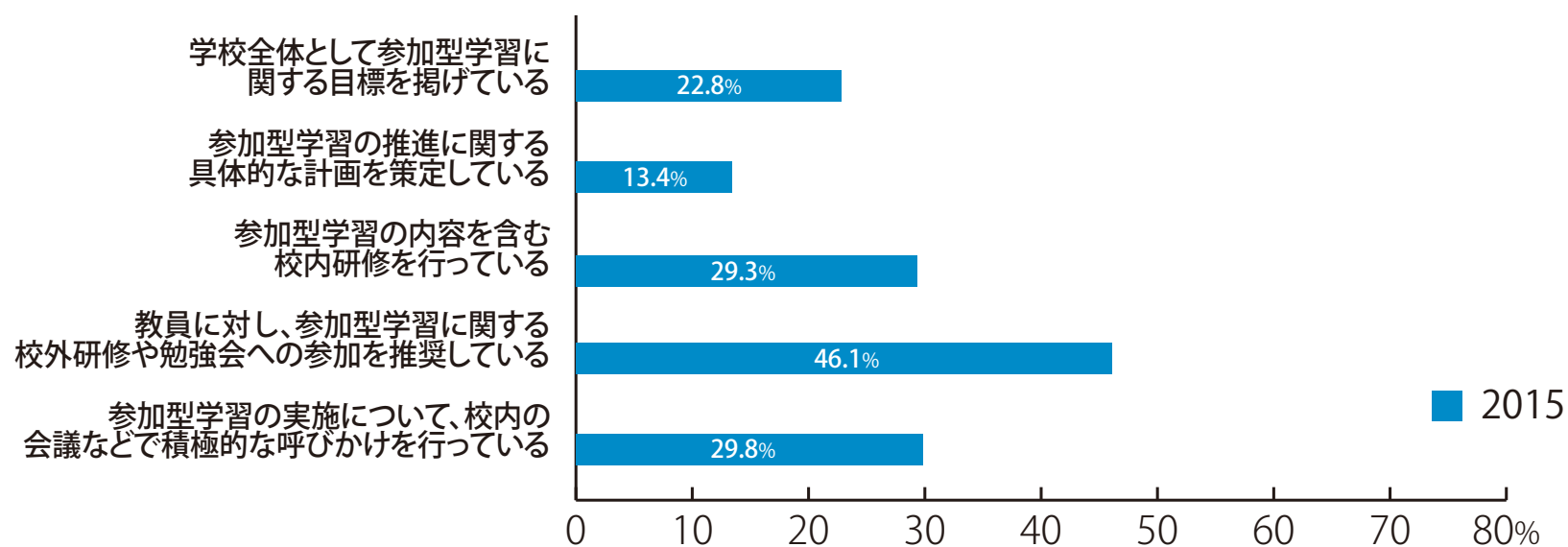


2015年度 教科主任調査 より

独自に取り組んでいる先生が多いようです

多くの先生が独自に取り組んでいた 2015年

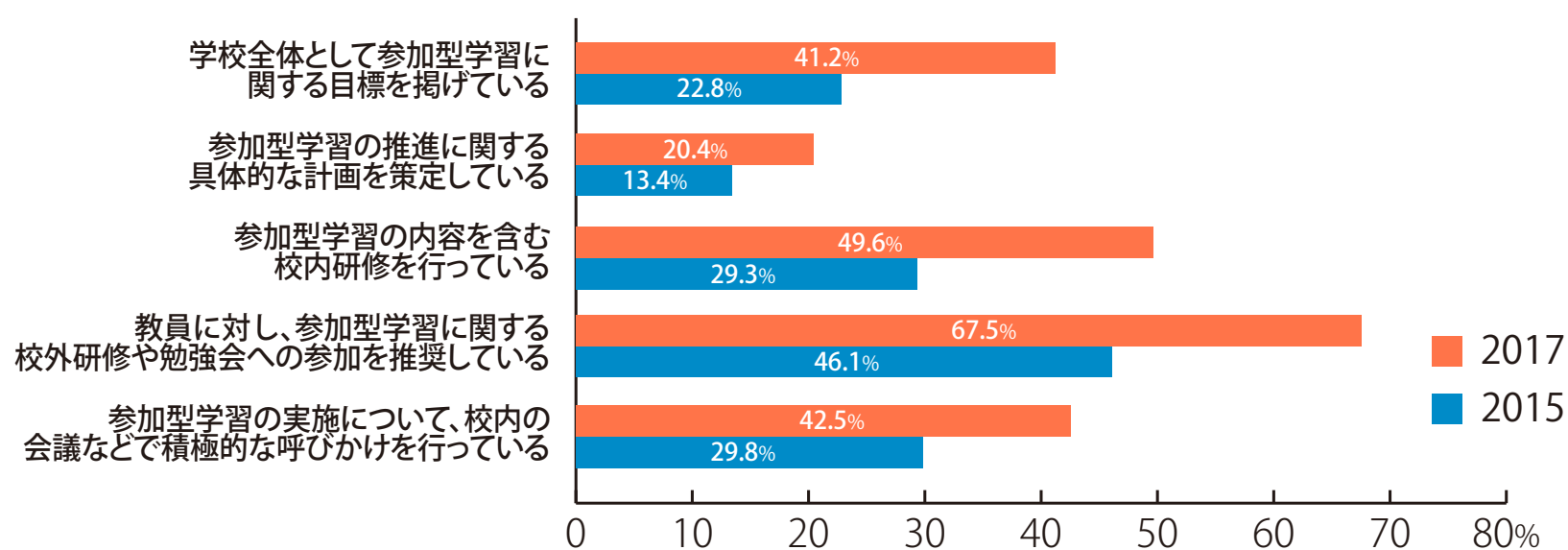
アクティブラーニングの取り組み状況



2015年度 学校代表者調査 より

それから2年……

アクティブラーニングの取り組み状況

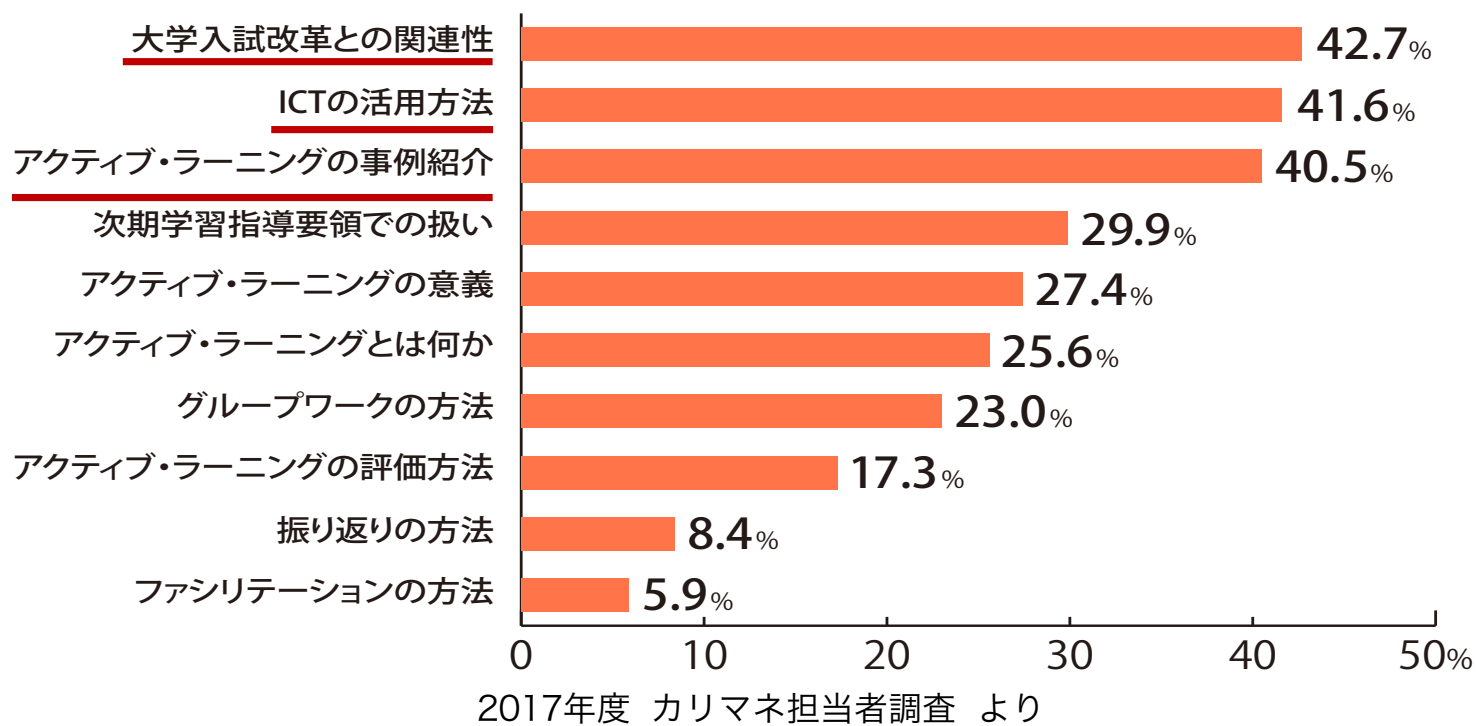


2015年度、2017年度 学校代表者調査 より

目標を掲げたり、計画を立てたり、研修を行ったり、組織的にアクティブラーニングに取り組む学校が増えています

校内研修の回数とテーマは？

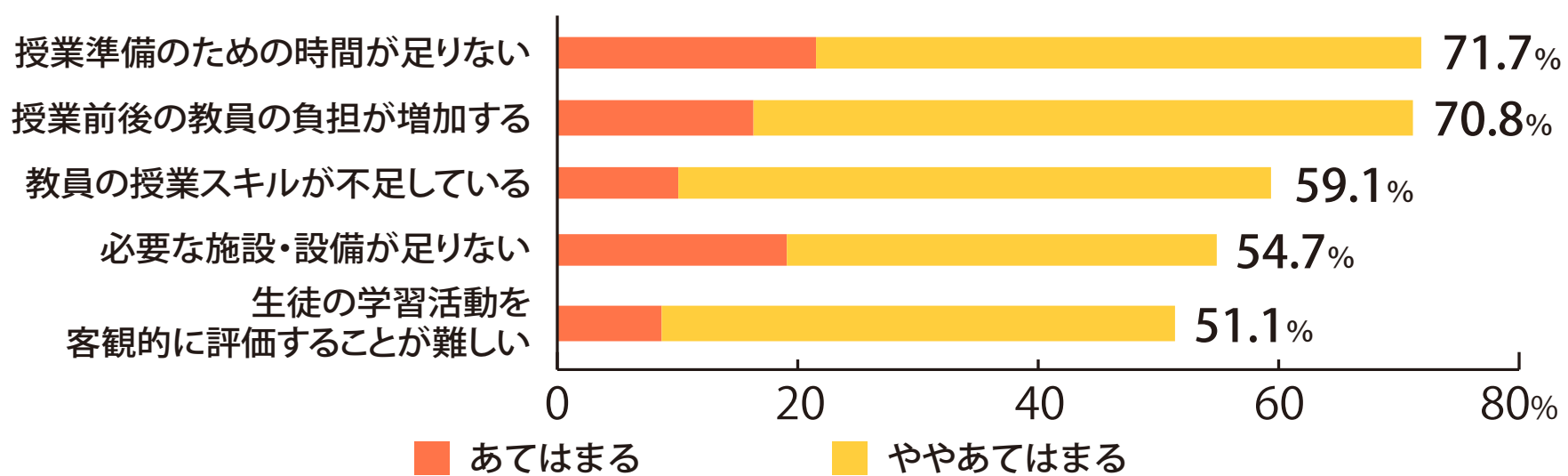
アクティブラーニングに関する校内研修の回数は 年間**1.93**回



**大学入試改革、ICTの活用方法、事例紹介への
関心が高くなっています**

どんな悩みを抱えている？

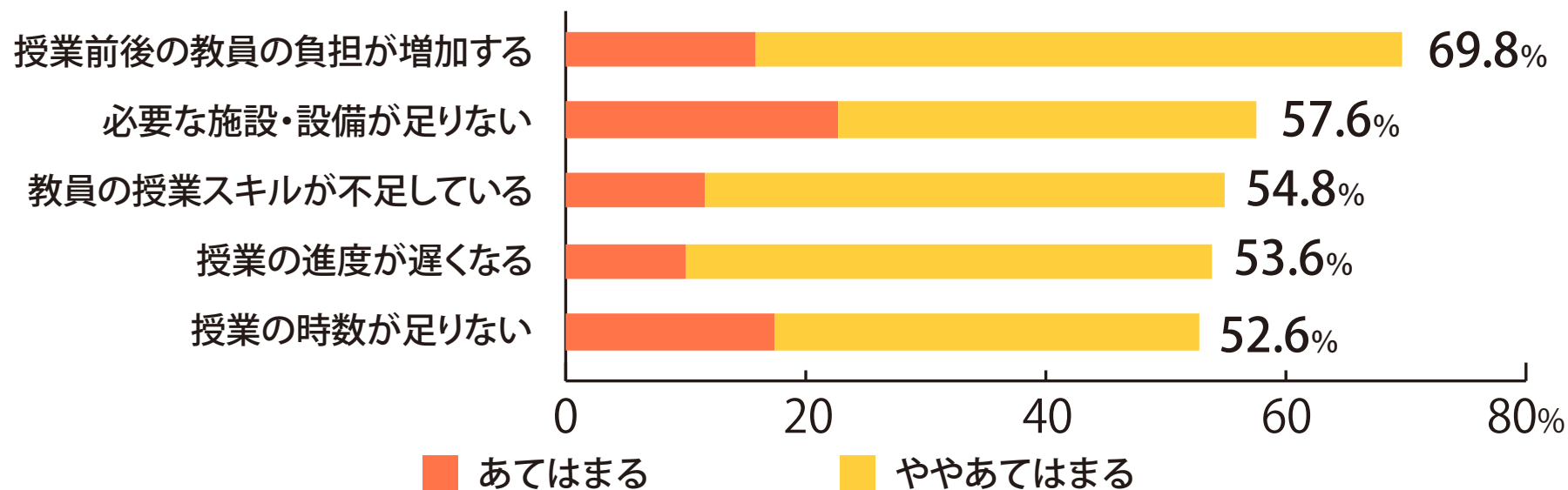
アクティブラーニングに関する悩み TOP 5



**準備の負担、施設設備の不足、教員のスキル不足、
客観的評価の難しさなどが悩みとなっているようです**

どんな悩みを抱えている？

アクティブラーニングに関する悩み TOP 5



2015年度 学校代表者調査 より

**教員の負担増加、施設設備の不足、教員のスキル不足
などが悩みとなっていたようです**

Question 3

この2年間で減った悩みは？



Question 3

アクティブラーニングの悩みに関する質問です。

アクティブラーニングの実施による悩みのうち、
2015年から2017年の2年間で減った悩みはどれでしょうか。
(2015年, 2017年に学校代表者の先生に尋ねました)

- ① 受験に必要な学力に結びつかない
- ② 教員の授業スキルが不足している
- ③ 生徒の学習活動を客観的に評価することが難しい
- ④ 教員が参加型学習の必要性を感じていない

Question 3

アクティブラーニングの悩みに関する質問です。

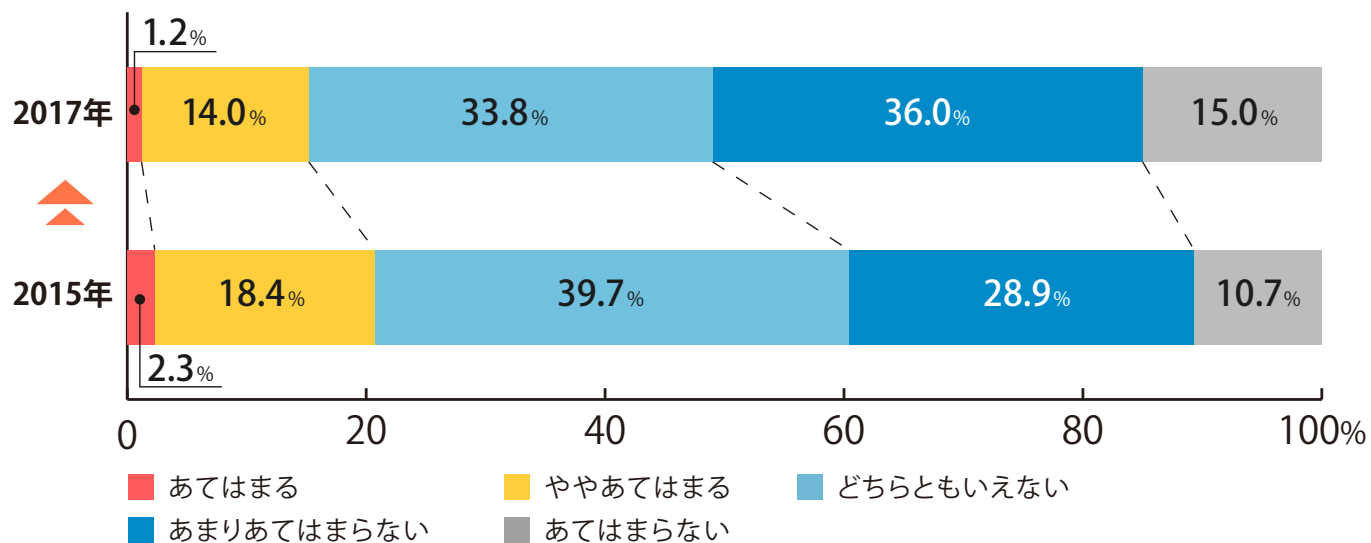
アクティブラーニングの実施による悩みのうち、
2015年から2017年の2年間で減った悩みはどれでしょうか。
(2015年, 2017年に学校代表者の先生に尋ねました)

- ① 受験に必要な学力に結びつかない
- ② 教員の授業スキルが不足している
- ③ 生徒の学習活動を客観的に評価することが難しい
- ④ 教員がアクティブラーニングの必要性を感じていない

アクティブラーニングを実施してみた

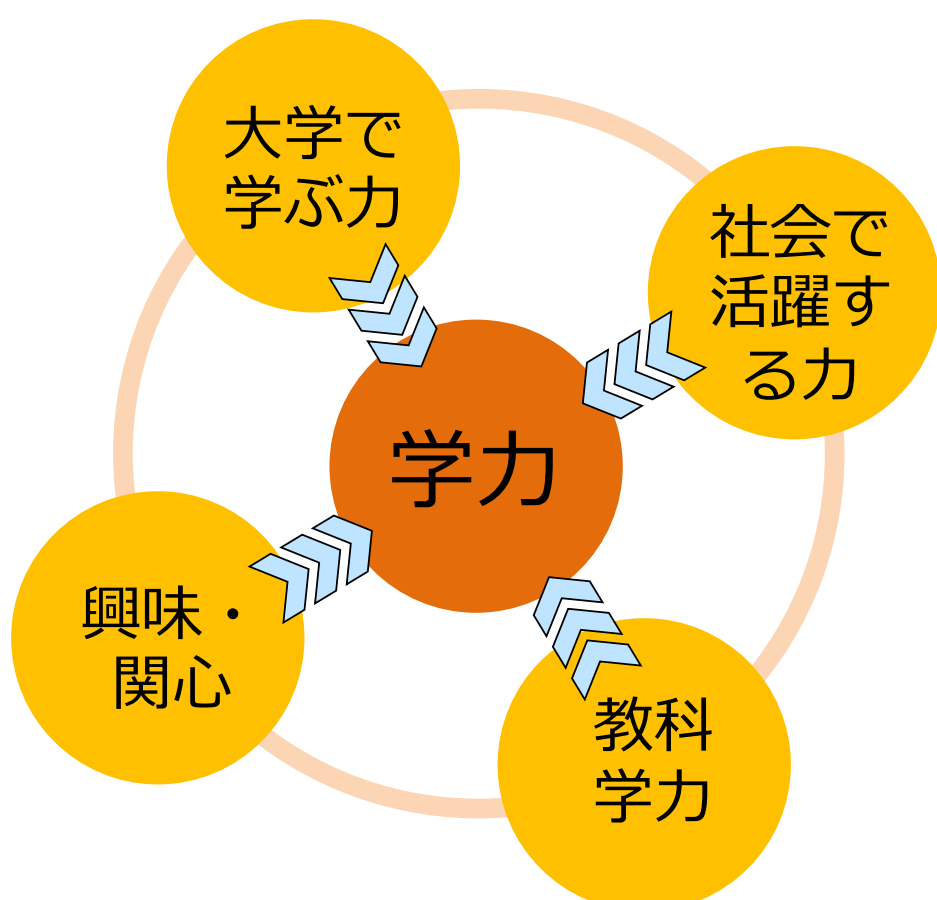
教員の理解に関する悩みは？

教員がアクティブラーニングの必要性を感じていない



アクティブラーニング推進について教員からの抵抗が少なくなり
生徒や保護者もその意義を理解するようになってきているようです

教科・科目の枠を越えた取り組み

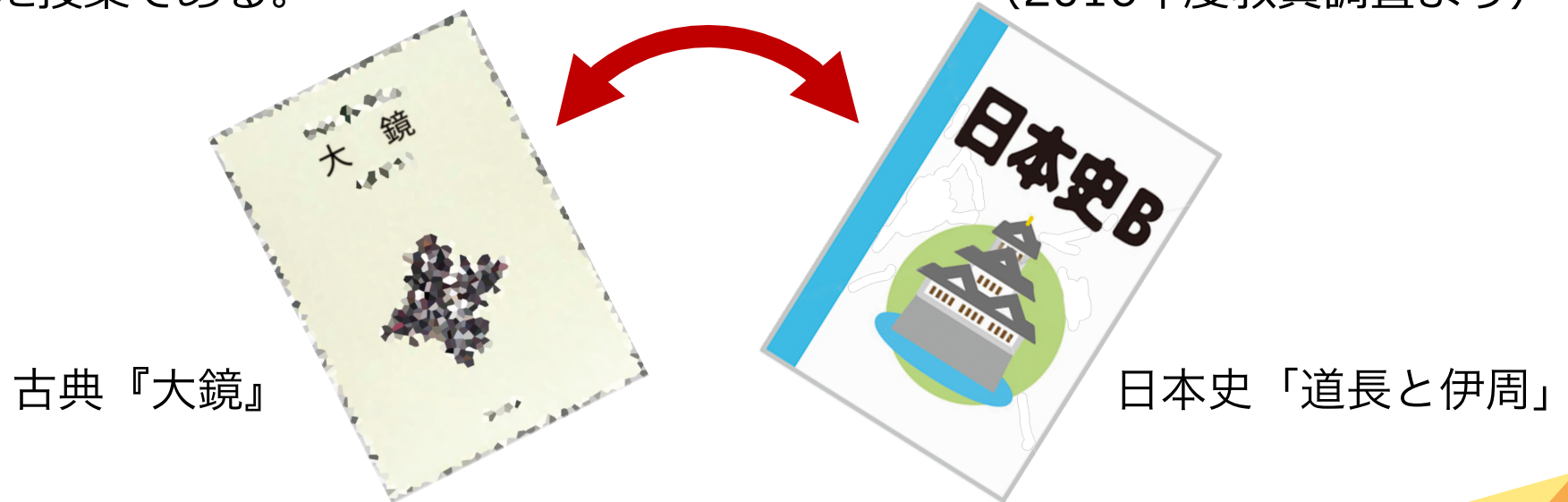


教科・科目横断的、統合的取り組み
大学との接続を意識した取り組み
社会との接続を意識した取り組み

教科・科目の枠を越えた取り組みって？

例えば

- 藤原道長と藤原伊周との関係について、日本史で学ぶ実際の歴史と、古典『大鏡』に収録されている「弓争い」という物語の内容とを比較・関連させて、当時の貴族社会の概要をつかませた。日本史と古典との2科目の内容を組み合わせた授業である。
(2016年度教員調査より)



Question 4

教科・科目横断的、統合的な取り組みに関する質問です。

2017年、全国の高校のうち教科・科目横断的、統合的な取り組みを行っている学校の割合はどれくらいでしょうか？

(2017年に学校代表者の先生に尋ねました)

① 約30%

③ 約50%

② 約40%

④ 約60%

Question 4

教科・科目横断的、統合的な取り組みに関する質問です。

2017年、全国の高校のうち教科・科目横断的、統合的な取り組みを行っている学校の割合はどれくらいでしょうか？

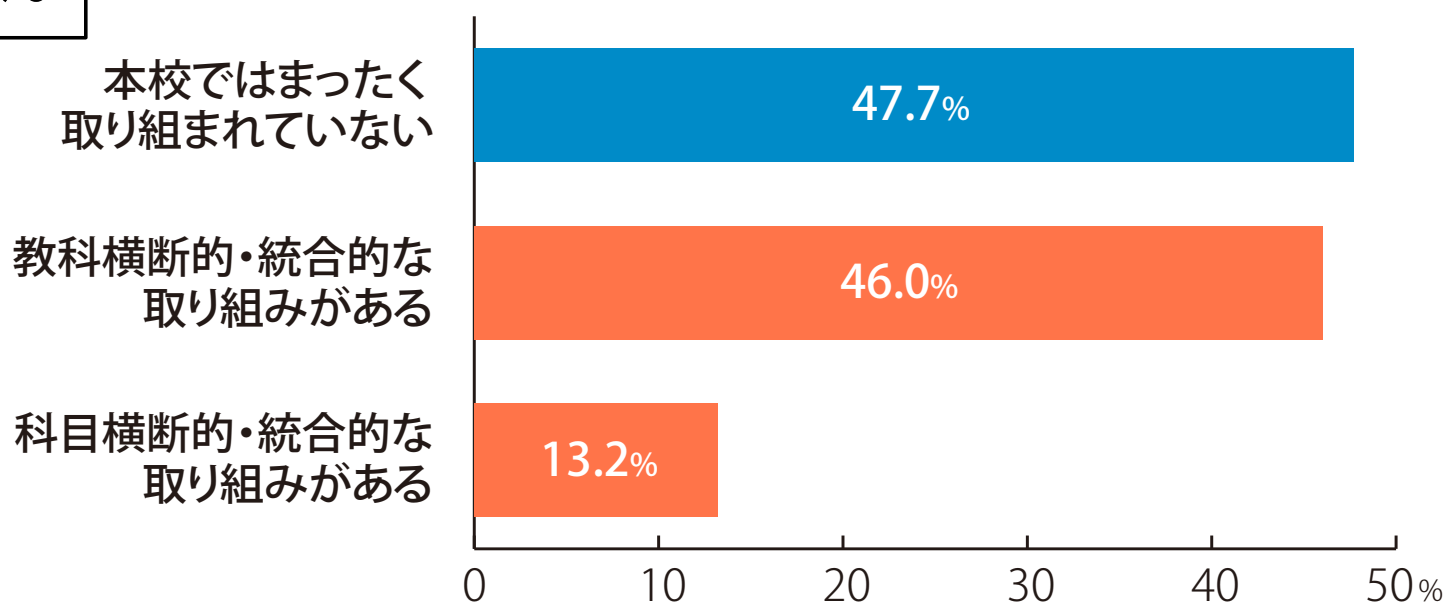
(2017年に学校代表者の先生に尋ねました)

- ① 約30% ③ 約50%
② 約40% ④ 約60%



教科・科目横断的、統合的な取り組みの有無

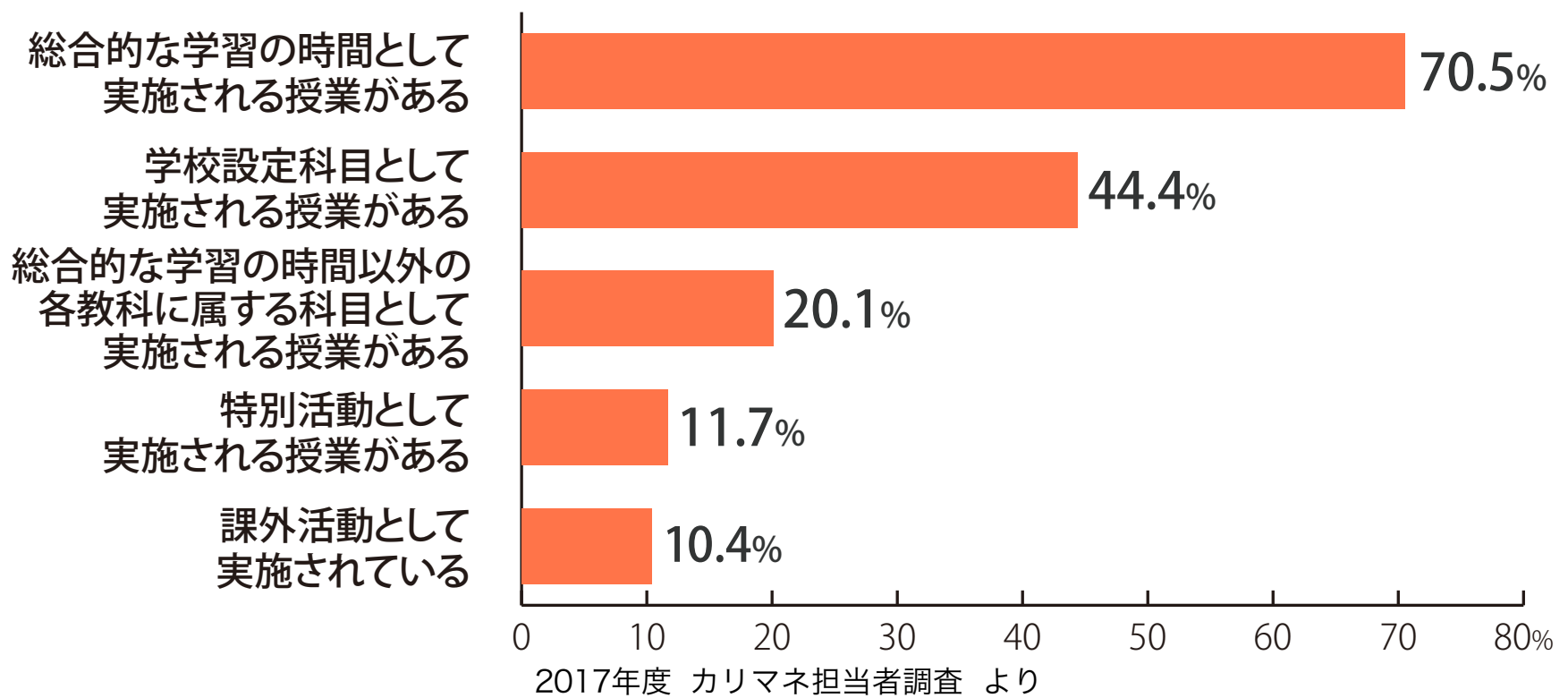
実施率
52.3%



2017年度 カリマネ担当者調査 より

約半数の高校で教科・科目横断的、統合的な取り組みを行っています

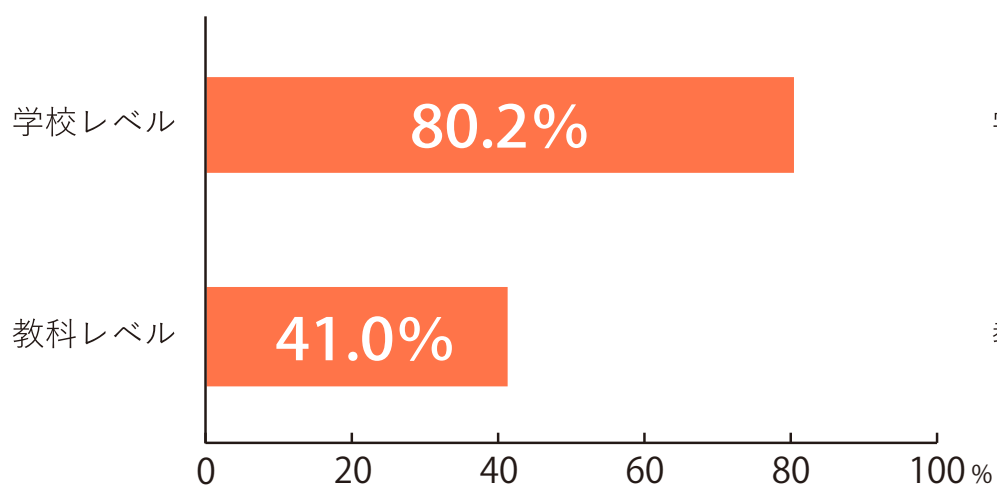
教科・科目横断的、統合的な取り組みの形態



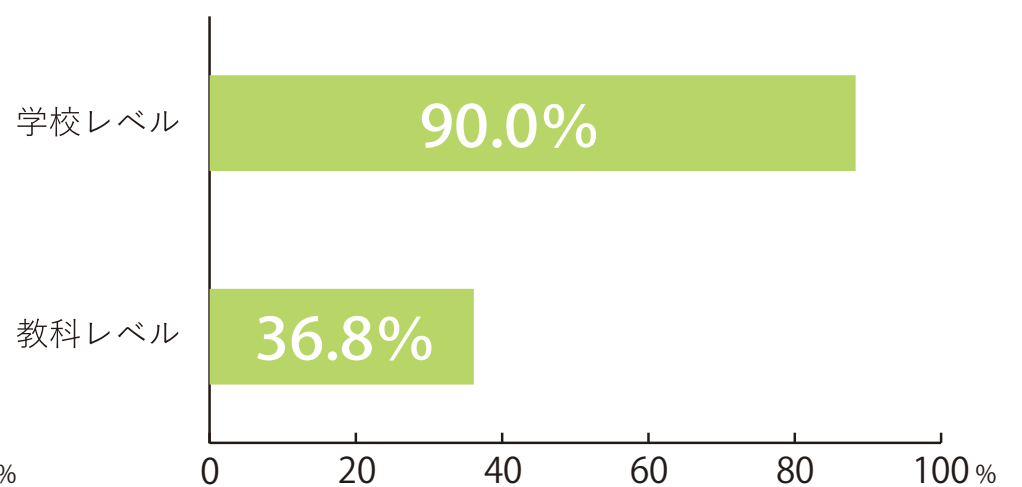
**総合的な学習の時間、学校設定科目での実施は多いですが
 各教科の中で実施される授業での取り組みは少ないです**

大学との連携・社会との接続への取り組み

大学との連携の実施率



社会との連携の実施率



2017年度 カリマネ担当者・教科主任調査 より

学校レベルで盛んに取り組まれています

カリキュラム・マネジメント編

カリキュラム・マネジメントって何？

◆ カリキュラム・マネジメントとは

- 教育課程とは、学校教育の目的や目標を達成するために、教育の内容を子供の心身の発達に応じ、授業時数との関連において総合的に組織した学校の教育計画であり、その編成主体は各学校である。各学校には、学習指導要領等を受け止めつつ、子供たちの姿や地域の実情等を踏まえて、**各学校が設定する教育目標を実現するために、学習指導要領等に基づきどのような教育課程を編成し、どのようにそれを実施・評価し改善していくのか**という『カリキュラム・マネジメント』の確立が求められる。

(中央教育審議会『論点整理』)

◆ カリキュラム・マネジメントの3つの側面

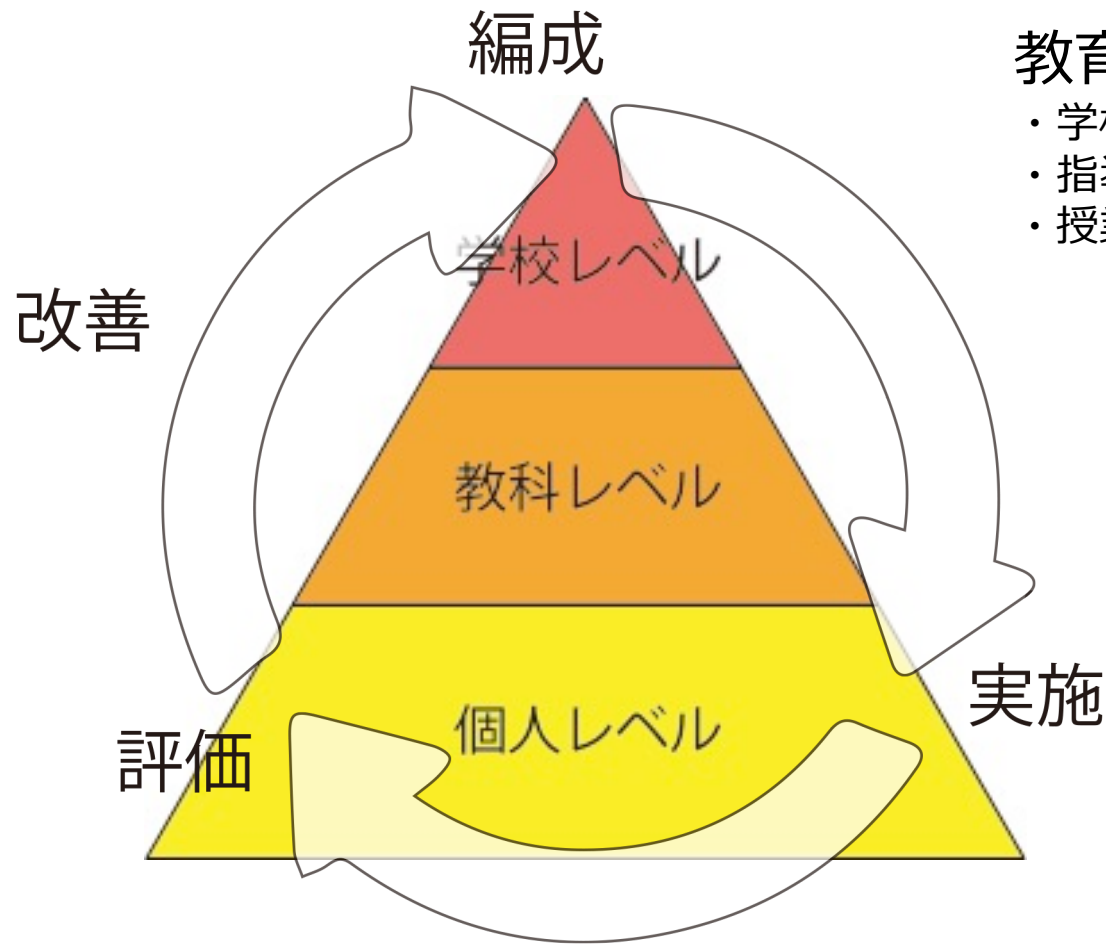
- 各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた教科横断的な視点で、その目標の達成に必要な**教育の内容を組織的に配列**していくこと。
- 教育内容の質の向上に向けて、子供たちの姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、**教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCA サイクルを確立**すること。
- 教育内容と、教育活動に必要な**人的・物的資源等を、地域等の外部の資源も含めて活用**しながら効果的に組み合わせること。

(中央教育審議会『論点整理』)

◆ 一言で言うと

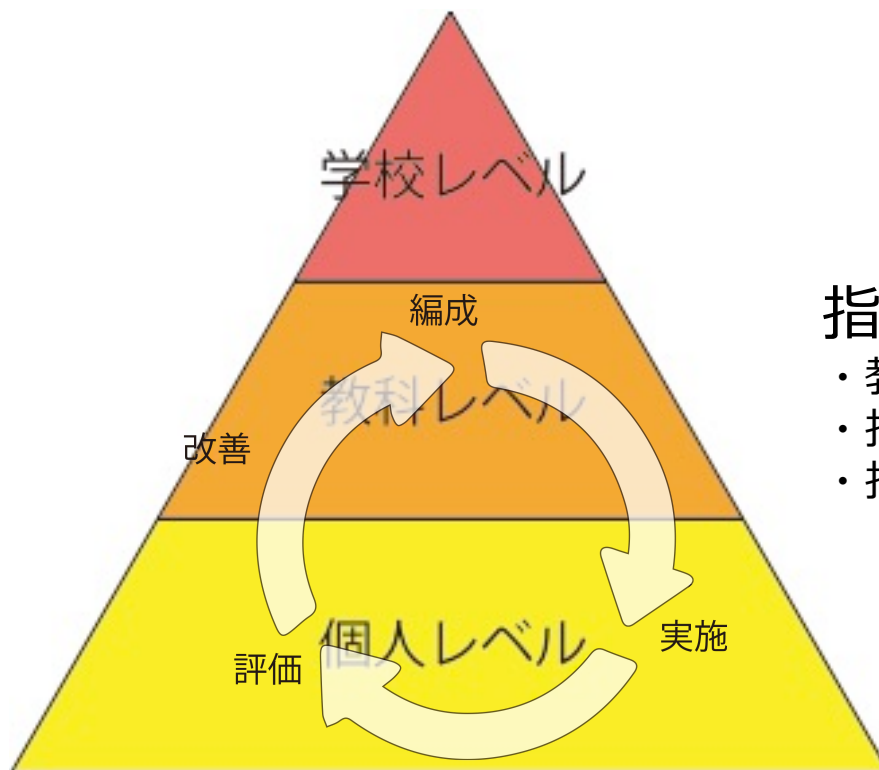
不断の教育改善への取り組み！

様々なレベルでのカリキュラム・マネジメント



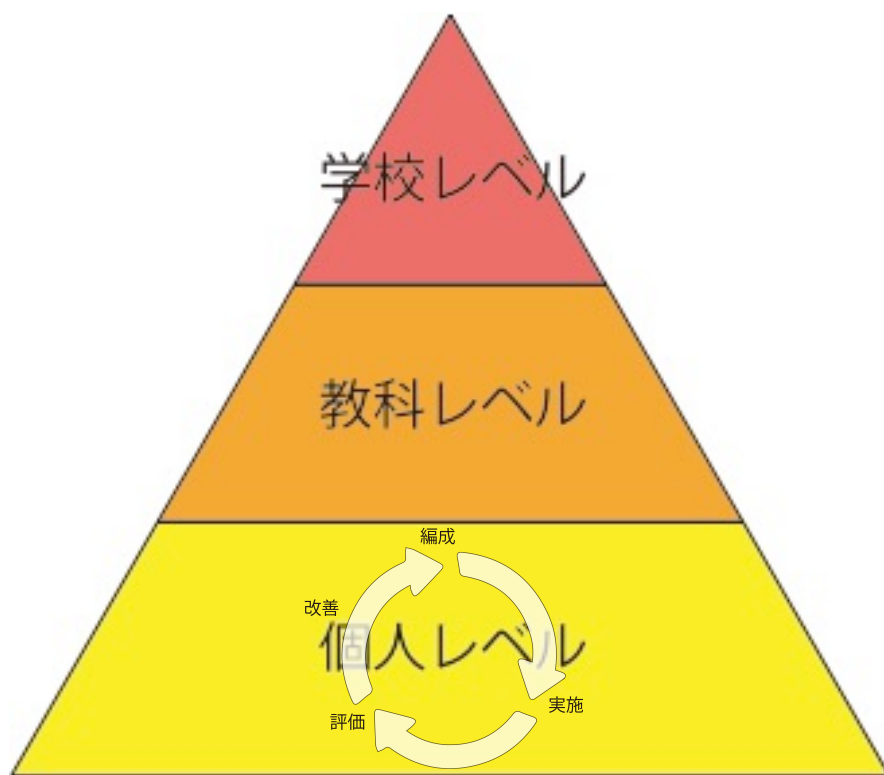
教育課程の編成

- ・ 学校教育目標の設定
- ・ 指導内容の組織
- ・ 授業時数の配当



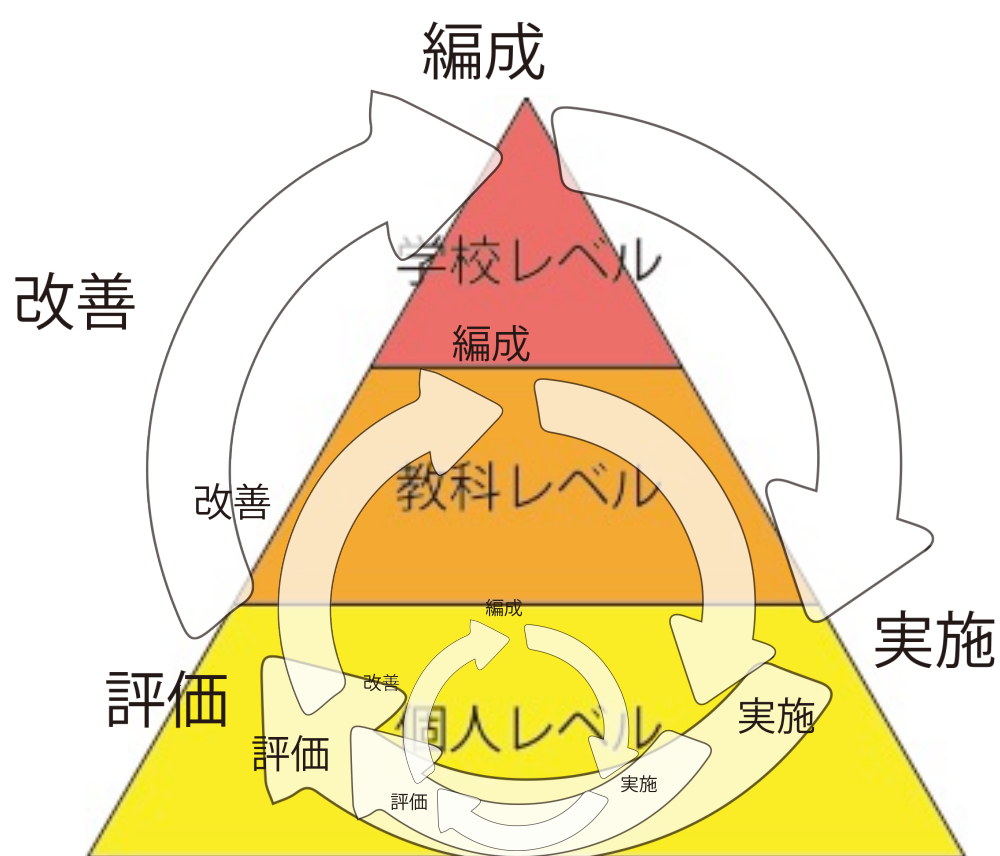
指導計画の編成

- ・ 教科目標の設定
- ・ 指導内容の組織
- ・ 指導時間の配当



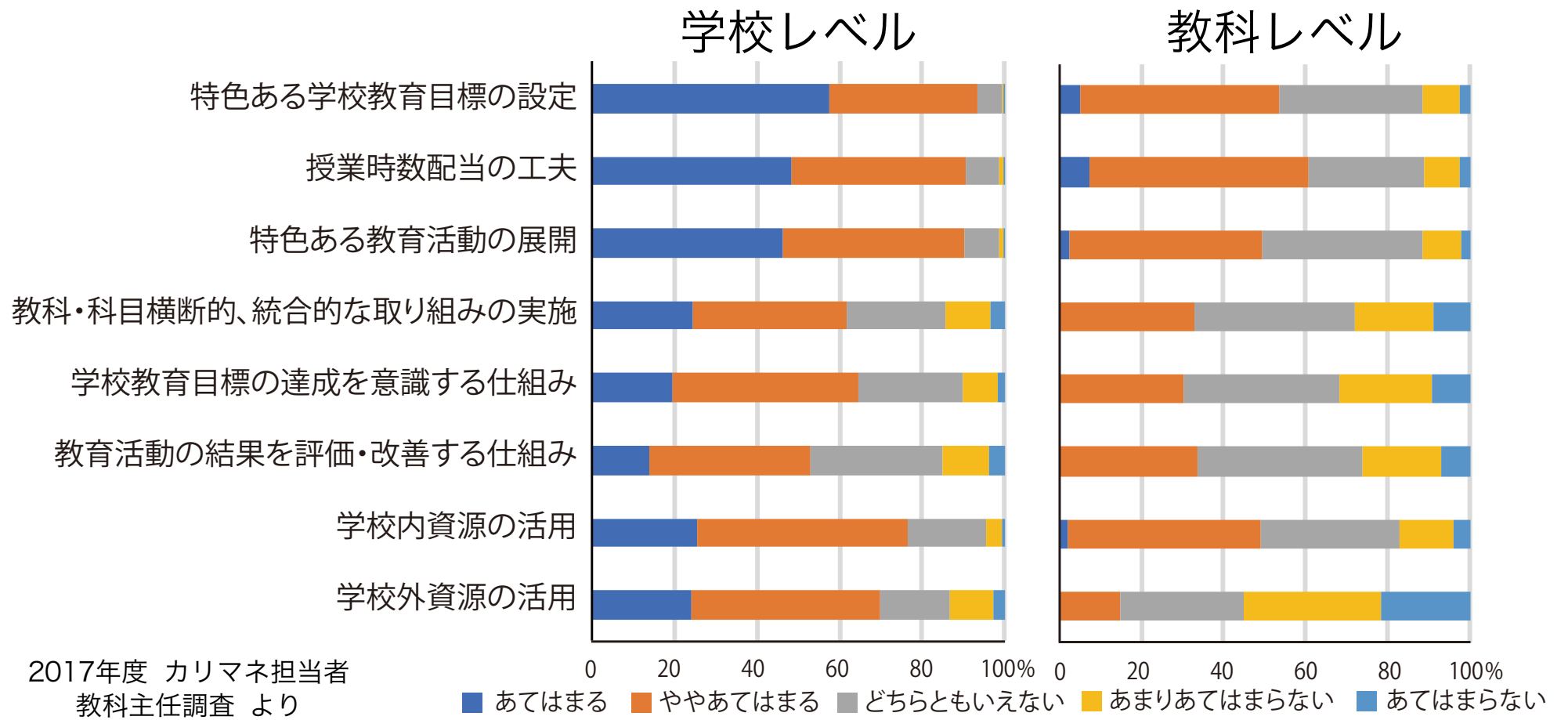
指導計画の編成

- ・ 指導目標の設定
- ・ 指導内容の組織
- ・ 指導時間の配当



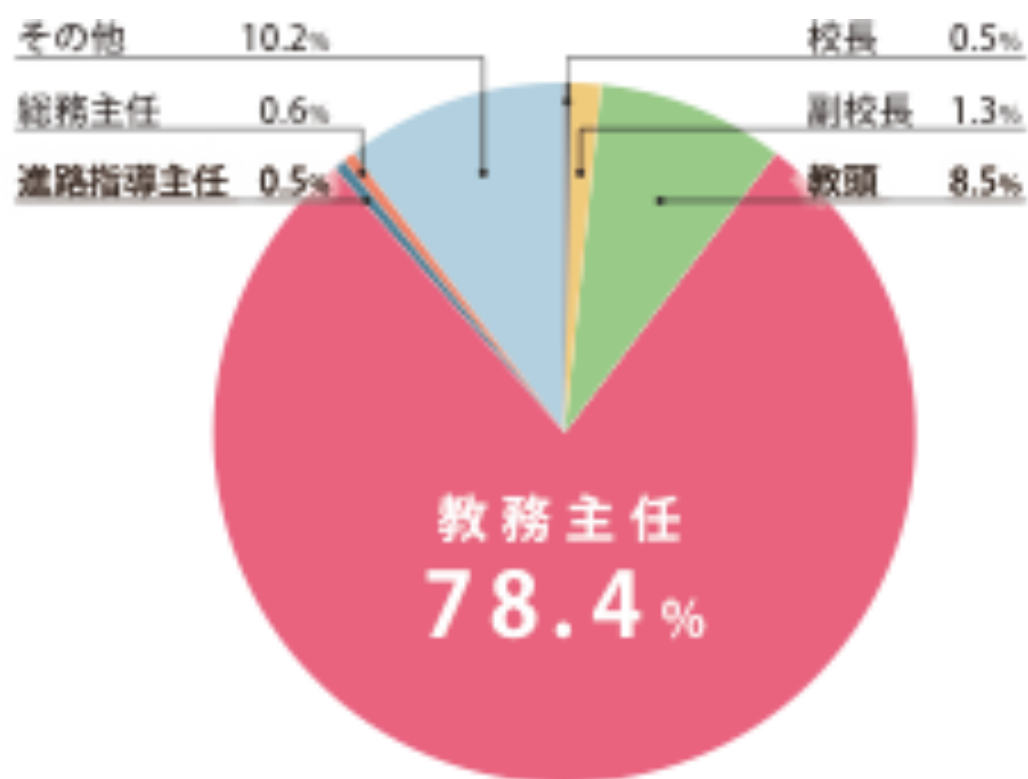
様々なレベルでカリキュラム・マネジメントが求められます

カリキュラム・マネジメントにどれくらい取り組んでいるか



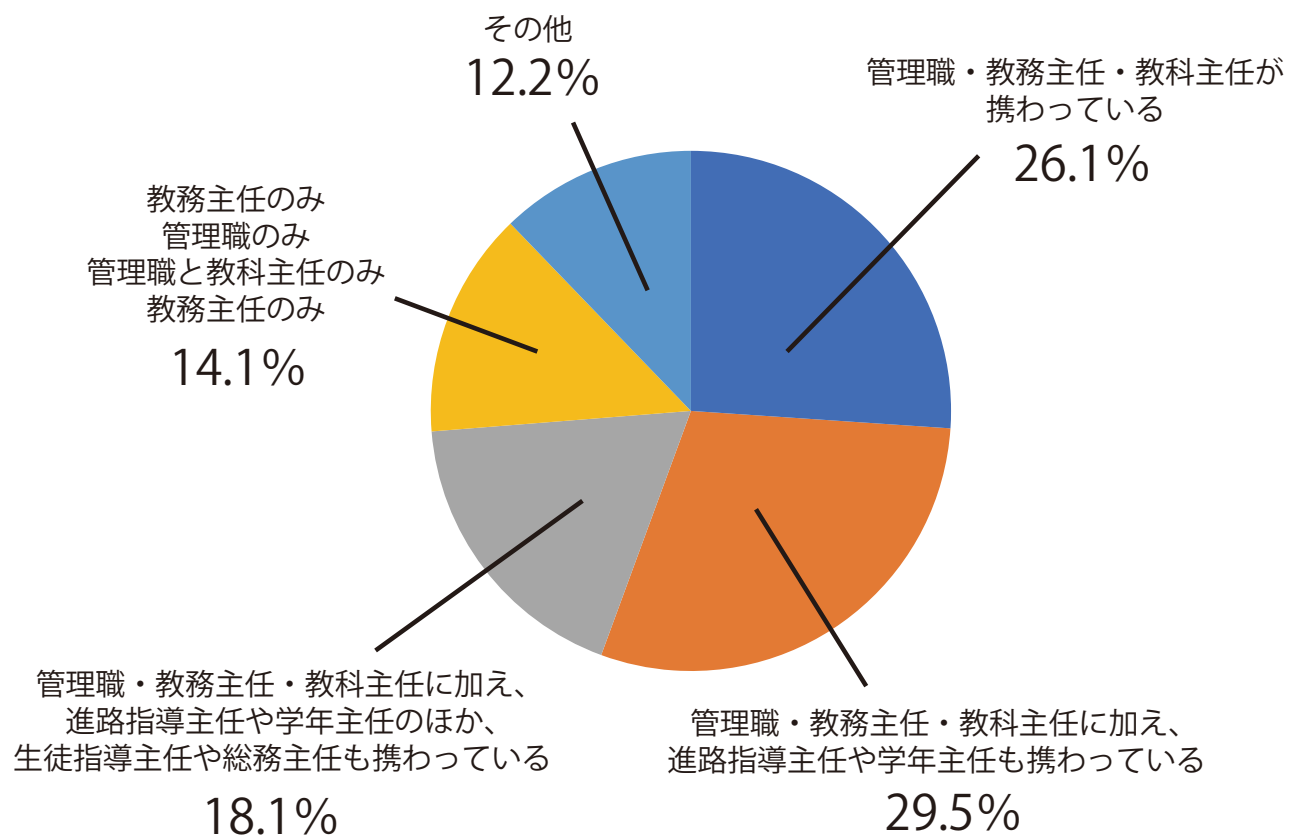
教科レベルでの取り組みにはまだ課題があります

学校レベルでのカリキュラム・マネジメントは誰が担っているのか



**教務主任の先生が担っている高校が多く、
教頭や学科長、専任の先生が担っている場合もありました**

教育課程の編成に誰が携わっているか



**一部の先生が担っている学校から
幅広い先生が担っている学校まで多様です**

Question 5

カリキュラム・マネジメント担当者と教科主任のカリキュラム・マネジメントに関する悩みで1番多かったものの組み合わせとして正しいものはどれか？

	カリマネ担当者	教科主任
①	時数や内容に関する要望を調整するのが難しい	評価・改善のための時間を確保できない
②	各教科・科目の人員や教材を融通しあうのが難しい	知識や方法が教員間に共有されていない
③	教育改善のための施設設備が足りない	教科を越えた連携ができていない
④	評価・改善のための時間を確保できない	学校の特徴を出すのが難しい

Question 5

カリキュラム・マネジメント担当者と教科主任のカリキュラム・マネジメントに関する悩みで1番多かったものの組み合わせとして正しいものはどれか？

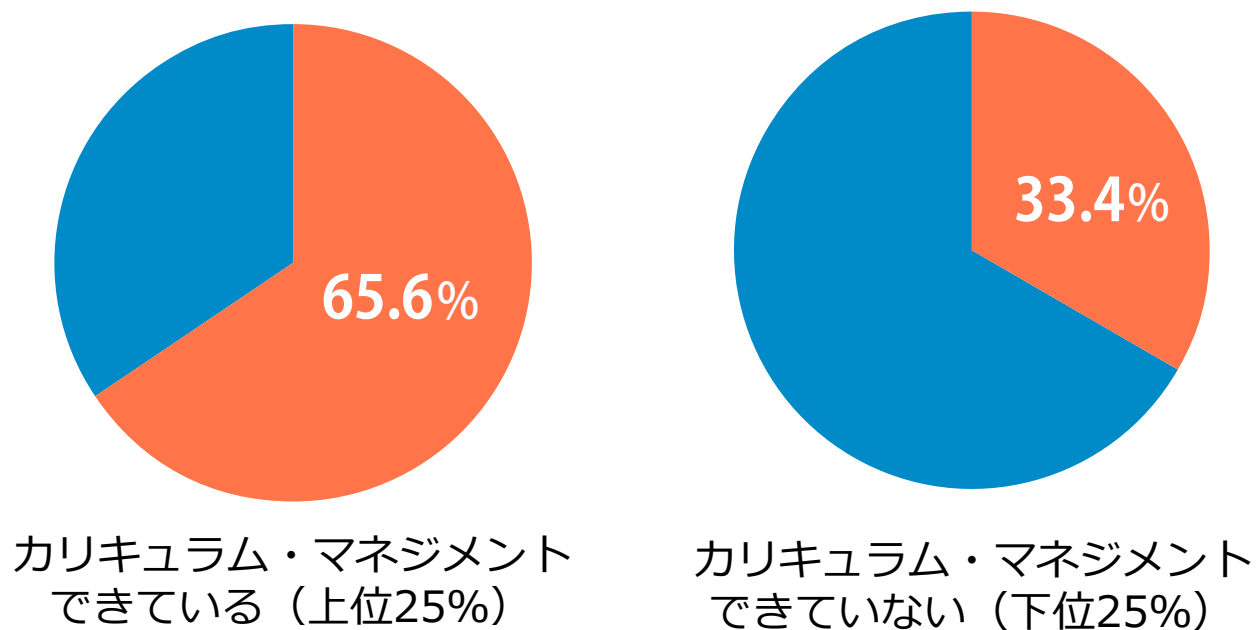
	カリマネ担当者	教科主任
①	時数や内容に関する要望を調整するのが難しい	評価・改善のための時間を確保できない
②	各教科・科目の人員や教材を融通しあうのが難しい	知識や方法が教員間に共有されていない
③	教育改善のための施設設備が足りない	教科を越えた連携ができていない
④	評価・改善のための時間を確保できない	学校の特色を出すのが難しい

カリキュラム・マネジメントの悩みのTOP 5

	カリマネ担当者	教科主任
1	時数や内容に関する要望を調整するのが難しい	評価・改善するための時間を確保できない
2	教育改善のための施設設備が足りない	教科を越えた連携ができていない
3	各教科・科目の人員や教材を融通しあうのが難しい	教育改善のための施設設備が足りない
4	評価・改善するための時間を確保できない	時数や教育内容に関する要望を調整するのが難しい
5	教科を越えた連携ができていない	学校の特色を出すのが難しい

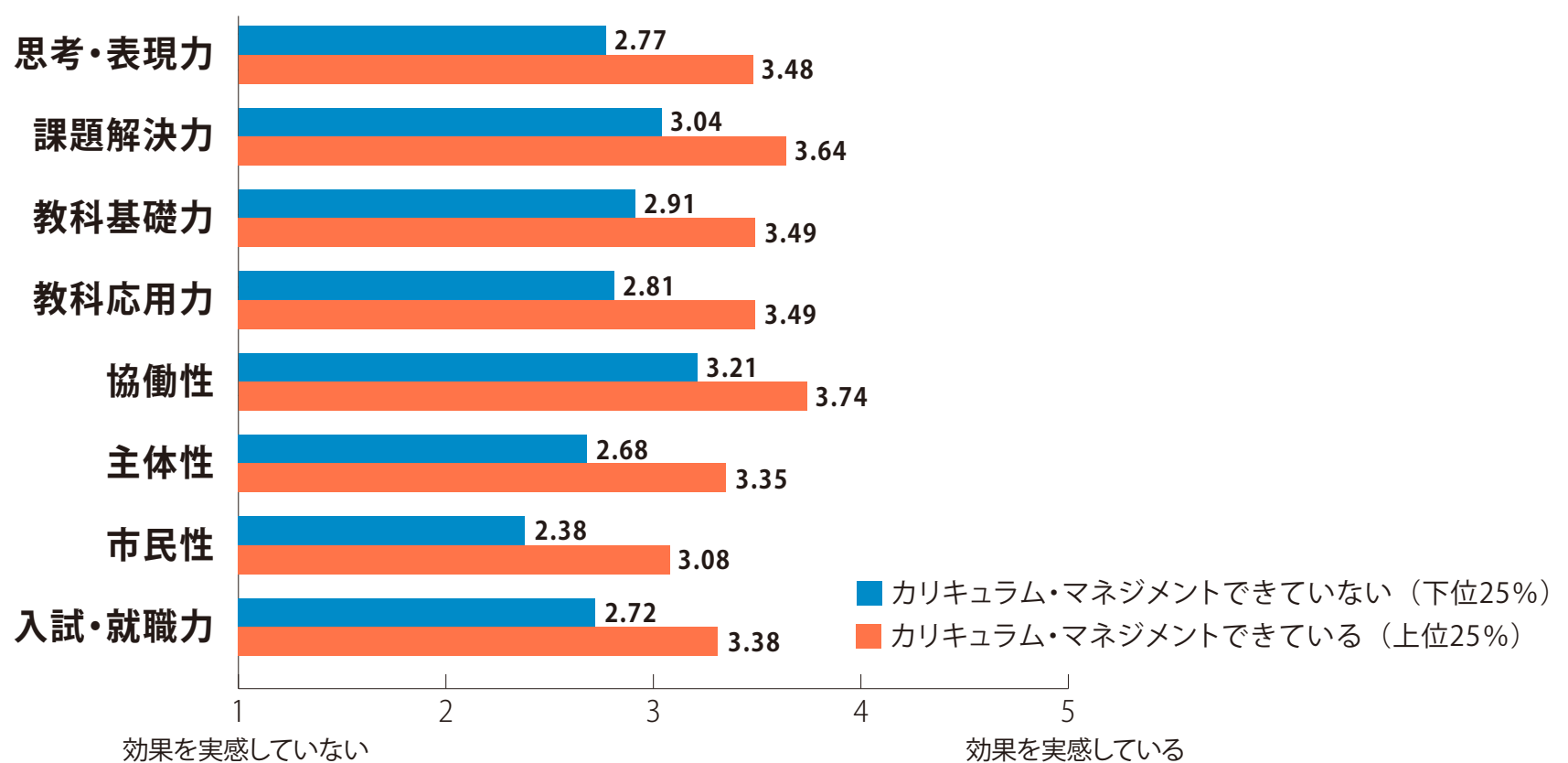
教科間の連携や調整、施設設備不足、評価改善の時間確保に悩みを抱えているようです

カリキュラム・マネジメントに取り組むと
アクティブラーニングの実施率の違い



カリキュラム・マネジメントに取り組む学校ほど
アクティブラーニングにも取り組んでいます

カリキュラム・マネジメントに取り組むと
アクティブラーニングによる効果の実感の違い



アクティブラーニングによる大きな効果を実感していました

まとめ

3年分の調査から、こんなことが分かりました！



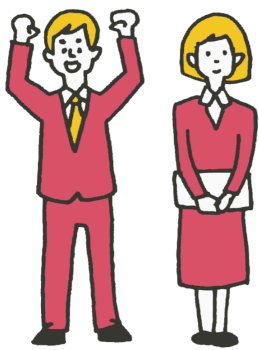
- 1 アクティブラーニングへの取り組みは着実に広がっている
- 2 アクティブラーニングへの組織的な取り組みが増えてきた
- 3 アクティブラーニングに対する理解が広がってきた
- 4 教科・科目横断的、統合的な取り組みや、高大社接続を見すえた取り組みは、学校レベルで進められている
- 5 カリキュラム・マネジメントへの取り組みは、効果的な授業改善と密接に関連している



クイズの結果は？

答え合わせ

Q. 1	Q. 2	Q. 3	Q. 4	Q. 5
3	2	4	3	1



皆さんのチームは何問正解しましたか？
全問正解したチームは・・・？

全国調査へのご協力、 本当にありがとうございました

